Engineer 技術助言

技術面の統率

20 件の実績

システムの各部分を結び付ける

「技術面の統率」に分類した実績は、稼働するシステムの一部分を示しています。その部分を他の業務につなげるお手伝いをします。 まず全体像を設計し、各部分のつながりと費用を、コードを書き始める前に明らかにします。

サービスを見る お問い合わせ →

比較できる課題を探す

ご自身の状況に近い事例をご覧ください。振り返りでは、技術名だけでは分からない、結果を導いた判断を説明しています。 14部門を支える共通インフラ計画 — 14 共通インフラ計画の対象となった研究部門

14部門を支える共通インフラ計画 お問い合わせ →

14部門を支える共通インフラ計画

研究機関の14部門に関わるインフラ全体の枠組みを設計。柔軟なモジュール、統一されたデータパイプライン、長期的な定着を支える体系的なサポート方針を備えた。

GIS地図アプリの開発を主導し売上を10倍に

GIS地図アプリケーションのソフトウェア開発を主導し、売上を10倍に伸ばして、製品を主要なデータ資産として位置づけた。

フルスタックのGIS地図開発を指揮

PostgreSQL、Mapbox、ReactJS、NodeJSを統括してフルスタックのGIS地図開発を指揮し、統合されたソリューションを提供した。

推定4,000時間を削減、チームは2人から18人へ

2人から18人へ成長したチームを指導し、作業手順と部門間の連携を改善する中で、4,000時間の削減を見積もった。

50,000語のソフトウェア文書を執筆

GitHub、Craft、ConfluenceでMarkdownを使い、50,000語の詳しいソフトウェア文書を執筆。知識の蓄積と工程の透明性を確保した。

従業員4人から14人への成長を主導

アジャイル手法と効果的なプロジェクト管理を用い、従業員4人から14人への会社の成長を主導した。

30件以上のGIS開発を構築からサポートまで主導

PostgreSQL、Bash、Python、JavaScript、GDAL、ArcGIS、PostGIS、Mapboxの専門知識を活用し、30件を超えるGISプロジェクトの開発・デプロイ・サポートを主導した。

社内プロジェクトの開発を支援

多数の社内プロジェクトの実行を導き、ソフトウェア開発の各段階で専門的な支援を行った。

業務工程の刷新で8,000時間を削減

社内工程を見直し、ソフトウェア構成、システム、日程管理の効率化によって8,000時間を削減した。

CI/CDの効率化で4,000時間を削減

ソフトウェア開発パイプラインを自動化してCI/CD工程を効率化し、4,000時間を削減した。

go-taskの自動化ターゲット578個を作成

ネイティブ、Docker、HTTPSの開発モード、静的検査、テスト、データベース、デプロイをカバーする、go-taskの自動化ターゲット578個を作成した。

6言語に警告ゼロの基準を設定

Go、TypeScript、SQL、Python、Shell、Markdownの6言語に警告ゼロの品質基準を設け、pre-commitフックで適用した。

プラットフォームの基礎技術方針を策定

2025年11月のリポジトリ開設後の数週間に、多層構成、データベース中心のデータアクセス、警告ゼロという基礎方針を定め、9か月後も維持した。

分析と定期的な進捗報告を提供

分析と定期的な進捗報告をCEOへ届け、技術指標と開発状況を意思決定につなげた。

時間管理・レポートシステムを設計

大きな変更を加えずに何年も本番利用された、時間管理・レポートシステムを設計した。

チームの協働を自動化

チームの協働、パスワード管理、タスク・時間管理を自動化し、プロジェクト実績を半自動で紹介する仕組みも構築して、チームの生産性を高めた。

268検査を持つリポジトリの検査基盤を構築

登録済みコミット検査268件、静的検査ルール277件、独自ESLintルール15件からなるリポジトリの検査基盤と、検査自体を試す146件のテストを構築し、人のレビューだけに頼らずビルドで基準を守るようにした。

51件の文書化した施策として開発を運営

54件の計画文書にわたる51件の施策としてサイト開発を進め、それぞれに未完了項目、測定結果、採用しなかった判断を記録。AIエージェント対応で見つかった8件中6件も、理由を記して見送った。

文書を独自の静的検査で管理

文書に、引き下げのみ可能なファイル別行数上限、目次要件、実在パス検査を設けた。完了扱いの9計画中6計画に未完了項目があり、コミットを制御する14タスクがどの文書にも記載されていないことを検出した。

4リポジトリで共通の履歴基準を維持

4つのリポジトリに対し、Conventional Commits、絵文字禁止、帰属トレーラー禁止という共通の履歴基準をコミットメッセージフックで適用し、作業方法を定める48件の指示文書とともに運用した。

技術的な取り組みを絞り込む

業務の流れ、既存のインターフェース、変更を必要とする利用者をお知らせください。検証可能な納品内容と、お客様のチームが保守を続けられる引き継ぎ内容を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

自社の状況に当てはめる

お使いのシステムで「技術面の統率」がどのように関わっているかをお聞かせください。適したサービスを選び、その業務範囲を定めるお手伝いをします。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://advisory.engineer.company/ja/categories/technical-leadership/